

〔国際会議発表〕

発表研究者	名古屋大学 大学院工学研究科 助教 窪田 智徳	2232105
参加会議	The Eleventh International Conference on Human-Agent Interaction (HAI 2023)	
開催場所	ヨーテボリ・スウェーデン	
出張期間	2023 年 12 月 3 日～2023 年 12 月 10 日（8 日間）	
発表論文	Effects of the behavior of a para-operated robot on the impression of the operator: a preliminary online study considering the robot-operator distance	

概要：

The International Conference on Human-Agent Interaction は、Human-agent interaction (HAI) という、人とエージェント（ロボットや CG キャラクター等の知能をもつ主体）との相互作用に関する研究を扱う会議であり、人間と機械の調和の促進を目指すものである。本会議は、ACM の協賛で開催され、人と機械の関わりを扱う会議の中で一定のインパクトをもつ。

本国際会議に参加する目的は、近接操作型ロボットという、操作型ロボットの新しい応用形態を提案し、そのロボットを用いて人同士の対話や関係構築を促進できる可能性について報告および議論することであった。近接操作型ロボットとは、操作者と操作対象のロボットが同一空間に存在し、操作者、ロボット、対話相手の 3 者で対面対話ができるものである。発表論文では、近接操作型ロボットが人同士の関係に及ぼす効果を調べるためのオンライン調査を行い、ロボットの振る舞いが人同士の関係構築を促進できる可能性を示し、またロボットが人同士の関係に与える影響を考慮するうえで、これまで注目されてこなかった、ロボットと人との距離の重要性が示唆された。

本会議に参加した成果として、近接操作型ロボットについて、HAI 分野の研究者らと共有および議論できた点が挙げられる。近接操作型ロボットという人と機械との今までにない調和の形について、当該分野の研究者らと共有および議論したことで、新しいアイデアや課題を発見し、本ロボットに関するさらなる研究の発展を考えることができた。特に、本研究について議論した研究者と、本ロボットを用いたフィールド実験を行う共同研究を計画することができ、現在は実験実施に向けた検討を進めている。